

これからの梨の栽培管理について (第1号)

平成 23 年 3 月 7 日

富山市技術者協議会園特部会
JA なのはな、富山農林振興センター

1. 貯蔵花粉の発芽試験を実施します！

	受付月日	受付時間	受付場所	結果の報告
第1選果場	3月28日(月)、29日(火)	午前9時～10時	梨会館	受付翌日、梨会館入口
第2選果場	3月29日(火)	午前9時～10時	第2選果場	受付翌日、第2選果場入口

※ 期限厳守をお願いします。

2. 開花予想

1月は平均気温 1.0℃ (平年-1.6℃)、
2月は平均気温 3.8℃ (平年+1.3℃) と、
寒暖の変動が激しい天候となっています。

3月2日時点の開花予想日は右表のとおりで
す。長期予報は、3月の気温は平年並み、4月は
やや低めに推移すると予想していますが、近年
(過去10年)の3～4月の平均気温は平年に比
べ0.8℃高いこと等から、今年の開花期は、ほぼ
平年並みになると予想しています。

なお、開花時期は今後の気温の推移に大きく
左右されます。最新の情報については、農協又
は農林振興センターに問い合わせして下さい。

■2011年 呉羽地区日本なし開花予想

今後の気温	品種名	開花始め	満開日
平年並みで推移した 場合	新高	4月15日	4月19日
	豊水	4月17日	4月21日
	幸水	4月20日	4月24日
近年並みに(平年 より0.8℃高く)推 移した場合	新高	4月12日	4月16日
	豊水	4月14日	4月18日
	幸水	4月17日	4月21日
平年より、 1.5℃高く推移した 場合	新高	4月11日	4月15日
	豊水	4月13日	4月17日
	幸水	4月16日	4月20日

2011/3/2 富山農林振興センター予想

3. 病虫害防除対策について

(1) 越冬病虫害対策

● 耕種的対策

粗皮の隙間にはナシヒメシンクイやハダニ等が越冬しており、カイガラムシ類も樹上で越冬しています。積極的に粗皮削りを実施しましょう。また、輪紋病のイボ皮も削り落としましょう。

● 防除による対策

昨年、カイガラムシ類等が多かった園地では、下記による特別防除を実施しましょう。

散布時期	薬剤名と濃度	10a当たり 散布量	対象害虫	防除実施日 (自己記入)
3月20日までに実施 (暖かい日に実施)	機械油乳剤95 20倍	300 _㍓	カイガラムシ	

※機械油乳剤95は、樹勢が弱っている場合は薬害を生じるおそれがあるので、石灰硫黄合剤(7～10倍 発芽前まで)に変更する。

(2) 黒星病対策

● 耕種的対策

りんぼう脱落期(4月上旬)に、枝を軽くたたいて、りんぼう(ガク)が落ちない芽は芽基部病斑となる可能性が高いので、基部からきれいにかき取る。



●防除による対策

昨年、黒星病の発生が多かった園地では、必ず下記による特別防除を実施しましょう。

散布月日	薬剤名と濃度	10a当たり 散布量	対象病害	防除実施日 (自己記入)
3月29～31日頃 (りんぼう脱落直前)	デランフロアブル 1,000倍	300 ^{リットル}	黒星病	

※散布月日は現時点での目安です。生育状況を見ながら散布時期を決めてください。

4. 誘引・花芽整理

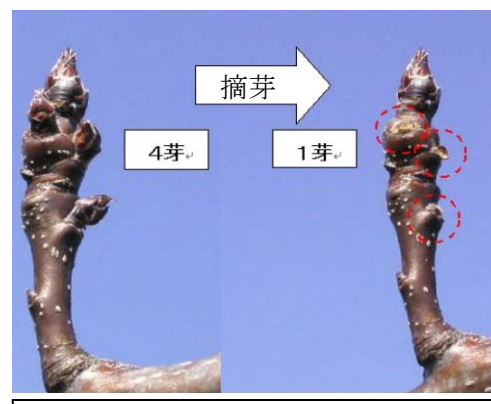
(1) 誘引(棚付け)

- 側枝バランス(目安:長果枝50%、2年生側枝30%、3年生側枝20%)に注意しながら、古い側枝は積極的に更新しましょう。また、側枝は交差させないようにし、**側枝間隔は少なくとも30cmは確保**するようにしてください。
- 「幸水」については、できるだけ**予備枝を多く取る**ように心がけてください。

○目標 側枝数:予備枝数=1:1

(2) 花芽整理

- 今年は花芽が少ないものの、側枝によっては弱小花芽が多く着生しています。**余分な花芽は除去**して樹の負担を軽減しましょう!



先端に花芽が複数着生した短果枝

5. 霜害対策

発芽や開花時期が早まることにより、冷気の溜まりやすい園地では、霜害の危険が高くなります。開花の早い「新高」「豊水」園や過去に霜害を受けた園地では、下記の予防技術対策について、あらかじめ準備をしておきましょう。

生育ステージ	色ついた蕾	開花中	小さな幼果
危険温度℃	-3.9	-2.2	-1.1

障害の発生する低温遭遇時間:30分間

(1) 気温の低下防止

伸びた草は果樹園内の気温を下げるので、草生栽培園では短く刈り、気温の低下を防ぐ。

(2) 冷気の流れ込み防止

冷気の流れがせき止められるような位置に防風ネットなどの遮へい物があると、園内が低温になるので巻き挙げて冷気の通過をよくする。また、冷気が流入してくる方向にネット等を張り、冷気の流れ込みを防ぐ。

(3) 燃焼法による防止

練炭(燃焼時間8時間程度)、固形燃料(オガライト 燃焼時間1時間程度)、モミガラなど、炎やばい煙の発生が少ない燃焼材料を用い園内の温度上昇や空気の対流促進を図る。

点火は、危険温度になる1時間前に終わるように進める。燃焼時間を考慮して時間差点火等により、最も気温が下がる未明まで燃焼が続くように工夫する。

※延焼を絶対に起こさないよう、火の管理については細心の注意を払う。

6. 春肥の施用

春肥は3月中下旬頃を目途に施用しましょう。

<10アール当たり施肥例>

例1 BM有機果樹専用(877) 60～100kg(成分量 窒素4.8～8.0kg,リン酸4.2～7.0kg,カリ4.2～7.0kg)

例2 なのはな梨配合(773) 60～100kg(成分量 窒素4.2～7.0kg,リン酸4.2～7.0kg,カリ1.8～3.0kg)